

## 6. 血液・造血器 Blood and Hematopoietic System

【1】期 間 R6.1.10～R6.1.22

【2】担当教員（◎は主責任者）

コース責任者 ◎鈴木律朗（教授，血液・腫瘍内科学）

コース主任 高橋 勉（学内講師，血液内科）

担当講座：血液・腫瘍内科学、血液内科、小児科、輸血部、  
放射線腫瘍学、臨床研究センター

【3】授業の目的

血液・造血器・リンパ網内系疾患の病態生理，病因，症候，臨床検査，病理の特徴を学び，診断と治療のために必要な知識を修得する。

【4】授業の到達目標

1. 造血器（骨髄，末梢血），リンパ節，脾臓の基本構造を理解し、病態との関連を理解する。
2. 貧血の分類を学び，その成因，病態，診断，治療法を理解する。
3. 出血傾向や血栓症をきたす疾患，病態を理解し，診断と治療法を学ぶ。
4. 白血病とその類縁疾患，骨髄増殖疾患の成因，疫学，診断，治療法を学ぶ。
5. リンパ増殖性疾患の成因，病態，診断，治療法を学ぶ。
6. 血漿蛋白異常をきたす疾患の病態，診断，治療法を学ぶ。
7. 輸血療法及び輸血関連検査を学ぶ。
8. 腫瘍性疾患の理解に必要な生物統計を学ぶ。

【5】授業の進め方

コース実施期間に講義を行い，最終日に全体のまとめ講義を大講堂で行った後に試験を実施します。

【6】キーワード

貧血，急性白血病，慢性白血病，リンパ腫，骨髄腫，血友病，輸血，発熱性好中球減少症

【7】総合評価

コースの最後に以下の日程で、学習効果を評価するための筆記試験を行います。講義の出席状況も加味して評価します。

令和5年1月23日（月）9時50分～10時50分 マークシート方式

総合評価には試験成績の他に，病理実習などで提出したレポートによる評価等も考慮されます。

【8】参考図書（◎は購入推薦図書,他は図書館に備えてあります）

- ◎ 1. 新臨床内科学第11版 矢崎義雄ら，医歯薬出版 16. 血液・造血器疾患
2. EBM現代内科学 黒川 清ら，金芳堂，7章 血液・造血器疾患
- ◎ 3. カラー版 内科学 初版 門脇 孝ら，西村書店，20章 血液・造血器疾患
4. リンパ腫セミナー 日本リンパ網内系学会編、南江堂
5. 血液病学 三輪史朗 文光堂，3版

6. 血液細胞アトラス 第4版 三輪史朗 渡辺陽之輔著, 文光堂
7. ここが知りたい!血液疾患診療ハンドブック 神田善伸編, 中外医学社
- ◎8. 異常値の出るメカニズム 第4版 河合忠 医学書院
- ◎9. 新病理学各論 第13版 菊池浩吉ら, 南山堂
10. 組織病理アトラス 飯島宗一ら、文光堂
11. 輸血医学 全国国立大学輸血部会議輸血医学カリキュラム委員会編, 金芳堂
12. 入門腫瘍内科学 改訂第2版『入門腫瘍内科学改訂第2版』編集委員会 篠原出版  
新社
13. 造血器腫瘍診療ガイドライン 2018年版 日本血液学会編, 金原出版
14. Wintrobe's & Clinical Hematology 11th ed., Greer JP.et al., Williams &  
Watkins,
15. Williams HEMATOLOGY 7th ed., Lichtman MA. et al., McGraw-Hill  
Medical,
16. Hematology Basic Principles and Practice 4th ed., Hoffman R. et al.,  
ELSEVIER CHURCHILL LIVINGSTONE,

【9】局所解剖 なし